



福島の実情と ベテランママの会の活動

2018年1月28日(日)

一般社団法人ベテランママの会

代表理事 番場 さち子

目次

1: 自己紹介

2: 南相馬市と震災

3: ベテランママの会

4: 考えてほしいこと

1.自己紹介

【氏名】 番場 さち子（ばんば・さちこ）

【生年月日】 1961/3/3 生まれ

【出身】 福島県南相馬市

【略歴】

南相馬市にて小中高生向け学習塾“番場塾”を開業。

2011年3月 東日本大震災および原発事故により、**約110名の生徒が0名**に公教育機能が停止する中で、**地域の小中高生を連日約30-40名塾に受け入れ授業・教材を無償提供**

たった一人の生徒のために採算度外視で塾を再開

任意団体「**ベテランママの会**」を立ち上げ**南相馬市医療再建会議委員**として

東京大学医科学研究所、南相馬市立総合病院などとの協働のもと放射能に関する勉強会を主催し、南相馬市に留まることを選択した子育て世帯向けの不安緩和の仕組みづくりに取り組み始める

第1回日本復興の光大賞（2015年）・第6回地域再生大賞優秀賞受賞（2016年）



目次

1: 自己紹介

2: 南相馬市と震災

3: ベテランママの会

4: 考えてほしいこと

福島県

1:750,000



番場ゼミナール

30km

20km

10km

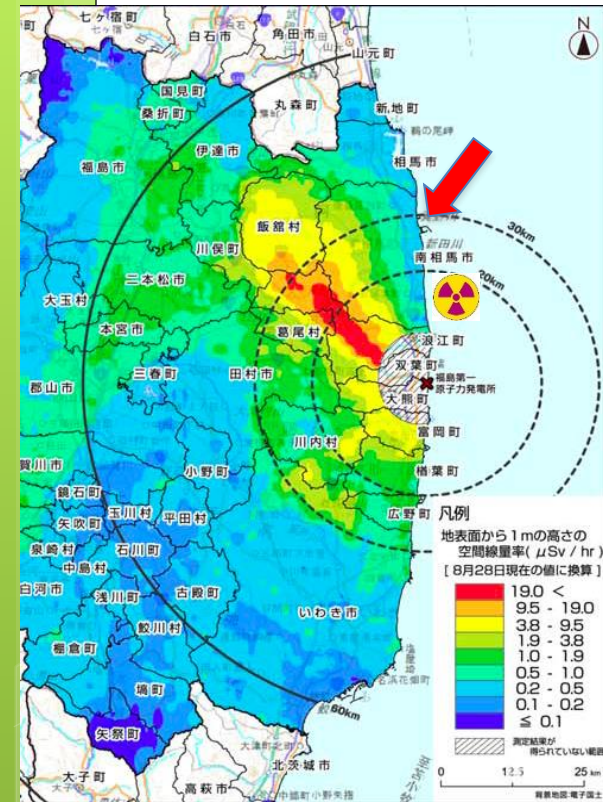


会津地方

中通り

浜通り

南相馬市における最大の不運 分断！



南相馬市立総合病院
番場ゼミナール(23キロ)



福島第一原発





March 11





六通話樓前 入館式（1963年）



March 14



March 11 pm 6:33

2011・3・13

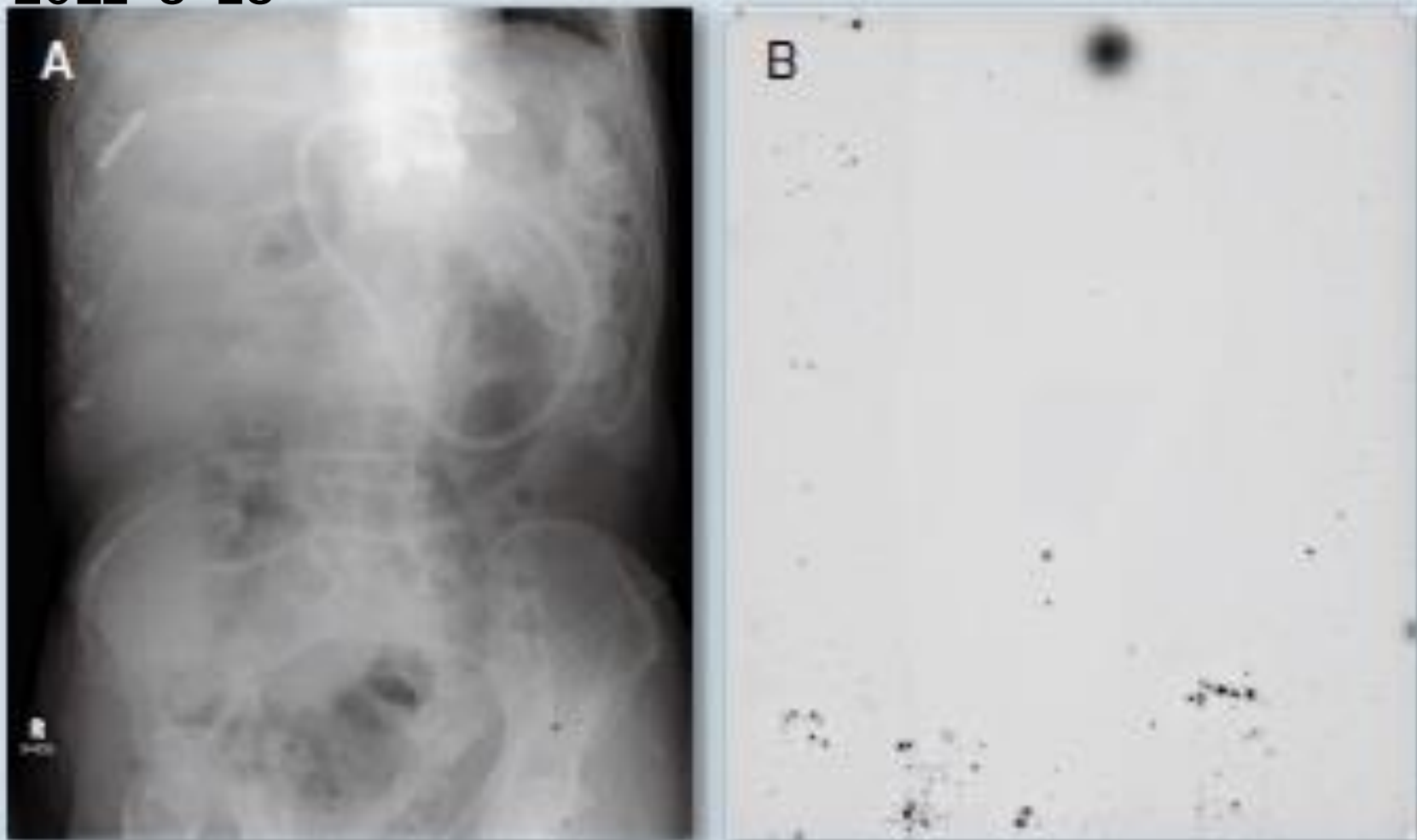


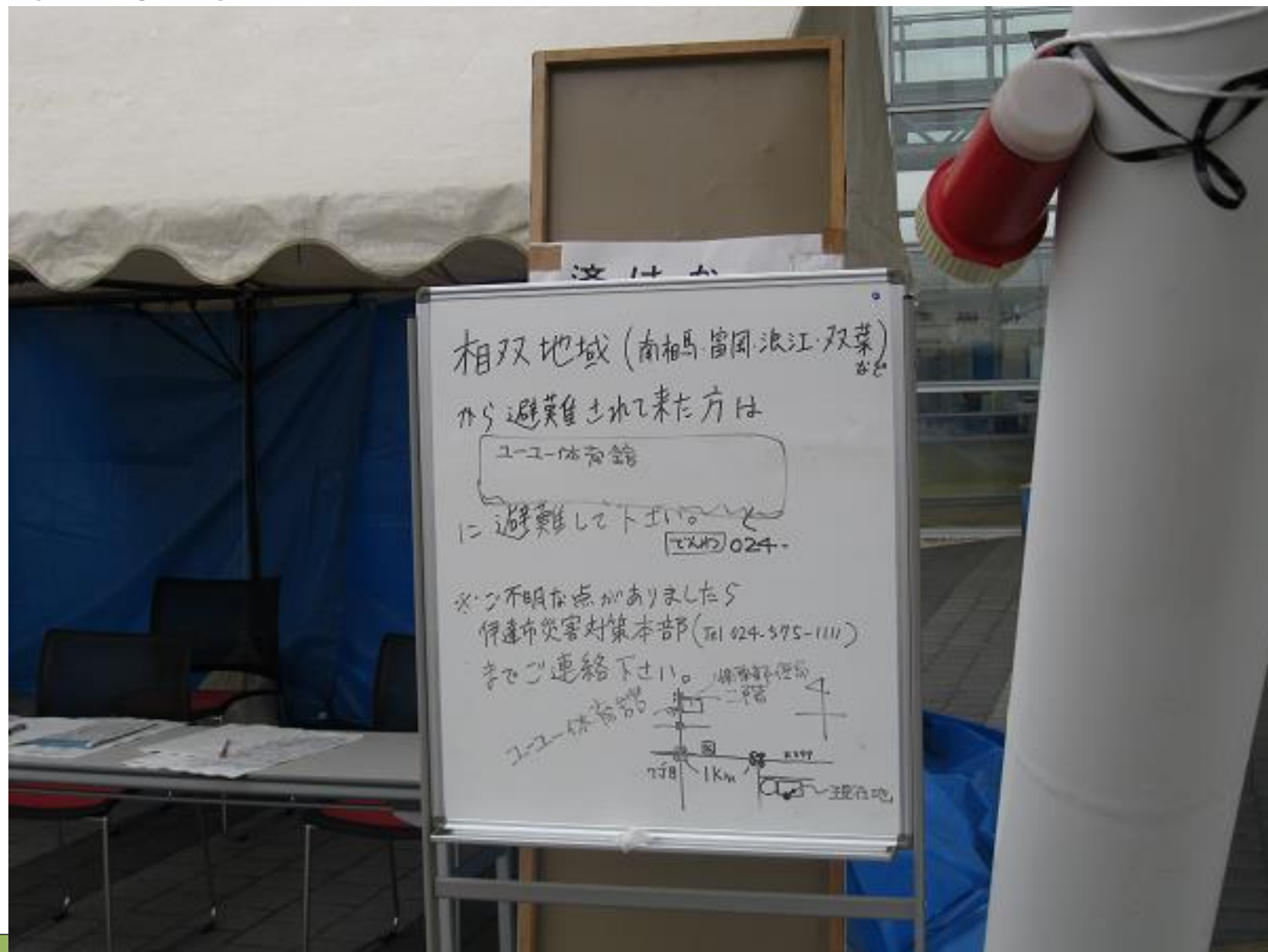
図1 被曝を示唆するフィルム感光現象

A: 透視中の画像、B: 未使用フィルム

〈3月15日(火)〉15日に撮影された福島第一原発の4号機(奥)と3号機(左手前)。東京電力が公表した



2011・3・15





March 13

避難所 2011. 3. 15(伊達市)



スクリーニングを受けないと避難所に入ってもらえなかった原発30km圏内の住民たち

おかしいと思いませんか？！！

30キロ圏内でも0.2 μ Svから

50キロの 1.0 μ Svへの避難生活



2011・3・15 段ボールの温かさが身にしみました





2011・3・29





学校が始まらない！！

- 行き場のない子どもたちをどうするのか？
- 親たちの焦りと不安・・・

→ **子どもの居場所を作ろう**

→ **無料学習会ミニスクール
を立ち上げる**

教育者のくせに！！罵声の電話

- 子どもを強制避難させないで受け入れているとは何事だ！！！！

→ここに帰って来た子どもには理由がある！

ここに住む子どもにも教育を受ける権利がある！

責任は私が取る！！

PCリース会社からの電話

- ・30キロ圏内に社員を入れるわけにはいかない！
→使えないPCはお返しします。と私。
- ・放射能浴びたPC返されても困る！



驚愕！！いきなりの延滞金請求！！

〒975-0033
福島県南相馬市原町区高見町2丁目91-4
番場 さち子 (番場塾) 様

平成27年7月10日

〒169-0072
東京都新宿区大久保1-3-21
新宿TXビル8階
受託者 オリファサービス債権回収株式会社
【法務大臣許可 第94号】

サービングセンター
Tel03-6233-3495 担当 鈴木 啓造
フリーダイヤル 0120-176-065
土日・祭日を除く9:00~17:30

ご連絡のお願い

前略、当社がオリックス株式会社から債権の管理・回収に関する業務の委託を受けました、下記ご契約のお支払いに関しまして、お客様のご事情を充分に考慮したうえで、誠意をもってご相談に応じる所存でございます。

ぜひとも、下記期限までに上記オリファサービス債権回収株式会社までご連絡くださるようお願い申し上げます。

草々

(当社は「債権管理回収業務に関する特別措置法(通称:「ビロ法」)に基づき、管理回収業務を行うものです。本状と行き違いにお支払いの節は、何卒ご容赦願います。)

【受託債権内容】	
現在の債権者	オリックス株式会社
当初の債権者	オリックス株式会社
受託元債権者	オリックス株式会社
受託日	平成27年2月17日
契約番号	1F0998E
契約者	番場 さち子 (番場塾) 様
契約日	平成21年10月29日
契約種別	リース債権
商品名	VOSTRO 220S
契約金額	896,000円

平成27年7月10日現在	
請求合計額	553,697円
元金残高	523,740円
遅延損害金	29,957円

ご連絡期限 平成27年7月20日

振込口座
みずほ銀行 池袋支店 (普通)
口座番号: 2108178
口座名義人: オリファサービス債権回収株式会社

平成27年7月10日現在

請求合計額	553,697円
元金残高	523,740円
遅延損害金	29,957円

ご連絡期限 平成27年7月20日

振込口座

福島県浜通り

2011年3月11日

世界初 トリプル災害



- 巨大地震
(マグニチュード9.0・震度6)
- 津波:
南相馬市原町区北泉(津波高8.6m)
- 原発事故
福島第一原発事故



NHK職員教育で
テレビや新聞報道

**3割の人が福島県産を
食べません！**

(7割の人は普通に食べています)

こういう報道止めて欲しい

大家さんからの質問

○荷物どうしますか？

(小高区の20キロ圏内の方が家を探しています)



撤退を決意

「命の方が大切です。いつ戻ってくるかわからない子どもたちの荷物は処分します」と即答

5部屋を3日で片付け・・

トラック4台分の教室の財産・思い出の荷物を処分

最後のトラックを見送る私の代わりに保護者が泣いてくれました



2011/3/11



5人の弁護士 自己破産を勧められる

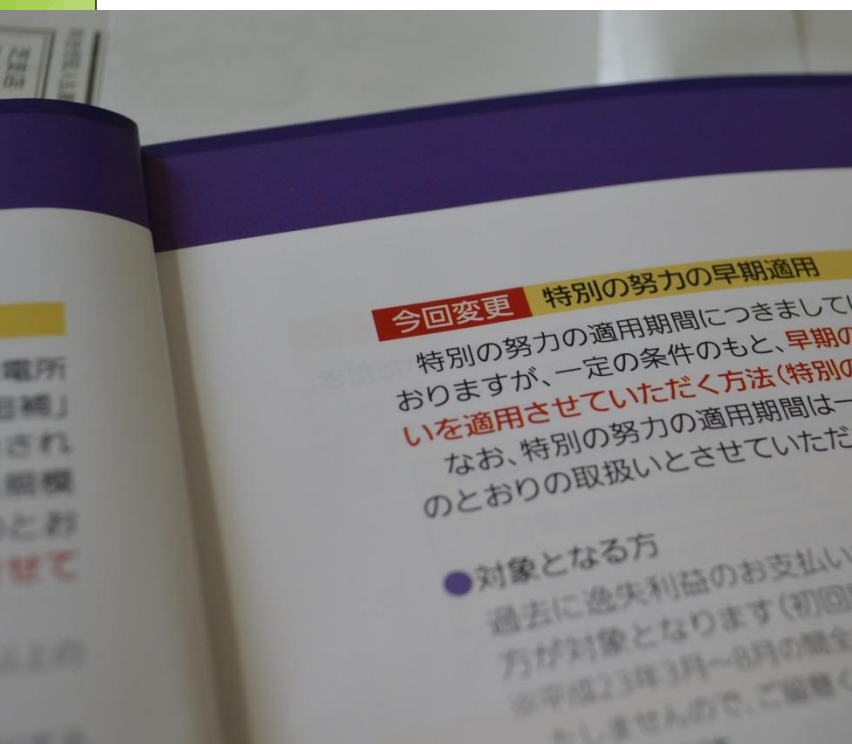
- ・南相馬に暮らし続けたいなら職業を変えるべき
- ・塾を続けたいなら他の場所に引っ越すべき
- ・リース代や借金などが破産することでまっさらになる

トラック4台分の荷物の請求・・・「領収書を添付して」

→東電からの電話

- 1.東電はあなたに塾を辞めてくれと言っていない
- 2.塾閉鎖はあなたの自己決断です
- 3.東電に因果関係はありません

→じゃあ114名が0になったのはなぜですか??



目次

1: 自己紹介

2: 南相馬市と震災

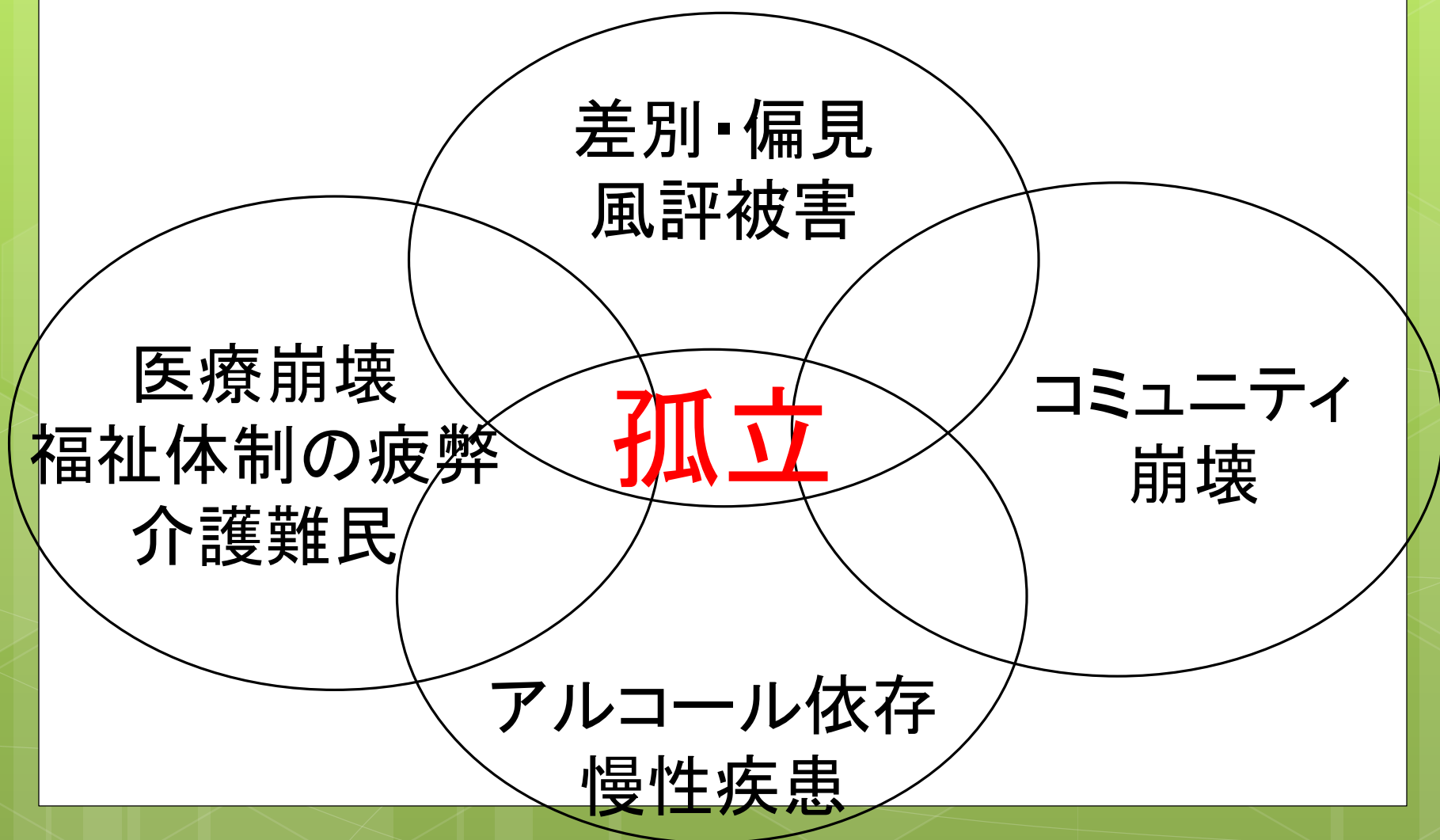
3: ベテランママの会

4: 考えてほしいこと

震災を体験し、地震と津波の恐怖に慄きながら、放射線の不安にも苛まれました
きっとこれからは心の病が増えるであろう..
それが「ベテランママの会」の出発点です
まず出来る事から...

被災者の体験や不安・叫びを聴き取る傾聴
が始まりました

南相馬市で何が起こっているか？



「自殺」歯止めかからず

県内 被災3県で最多54人
まとまらない防止策 初の合同会議

福島民報 6月21日

被災3県の
震災関連自殺者数

【表1】

	福島	宮城	岩手
平成23年	10	22	17
24	13	3	8
25	23	10	4
26 (5月末)	8	1	1
合計	54人	36人	30人



【表2】東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に関連する県内自殺者の年代別・職業別・原因別一覧

	自殺者数	年代別（人）								職業別（人）								原因・動機別（人）										
		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	従業者	家族	自営業、被雇用者	生徒など	学生	主婦	失業者	者など	年金生活	無職	その他	問題	家庭問題	健康問題	生活問題	経済問題	勤務問題	男女問題	学校問題
平成23年	10	0	1	1	0	4	2	0	2	2	1	0	0	3	2	2	2	2	2	2	4	5	0	0	0	0	3	1
24年	13	0	2	1	0	3	3	2	2	1	2	0	0	2	5	3	2	7	2	1	0	0	0	0	4	1		
25年	23	0	2	3	1	6	2	3	6	1	8	0	2	1	6	5	2	11	6	4	0	0	0	1	7			
26年5月末	8	0	0	1	0	3	4	0	0	1	1	0	1	0	1	4	2	5	2	0	0	0	0	0	0	1		
合計	54	0	5	6	1	16	11	5	10	5	12	0	3	6	14	14	8	27	15	5	0	0	0	8	10			

※平成23年の人数は統計を開始した6月からの数値。原因・動機は自殺者1人につき、最大3項目まで計上しているため実際的人数と一致しない。

福島民報

平成27年9月8日

県内、自殺後絶たず

今年1～7月11人 支援員確保が課題

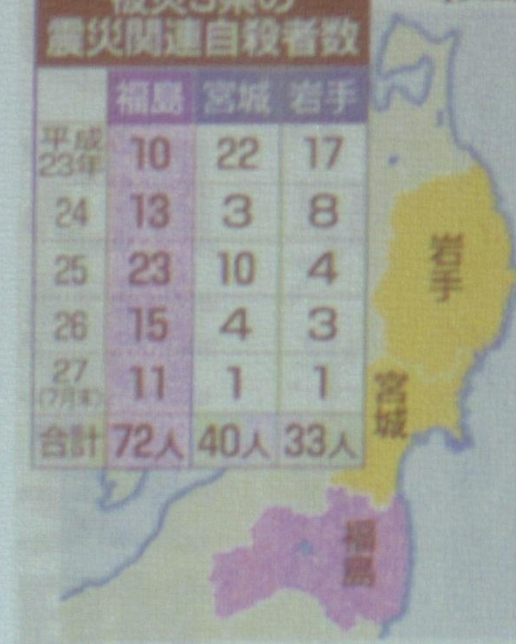
福島民報

2015年9月8日
9月8日
九月八日

被災3県の
震災関連自殺者数

	福島	宮城	岩手
平成23年	10	22	17
24	13	3	8
25	23	10	4
26	15	4	3
27 (7月末)	11	1	1
合計	72人	40人	33人

【表2】



【表1】 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に関連する県内自殺者の内訳

	自殺者数	性別		年代別 (人)								職業別 (人)								原因・動機別 (人)									
		男	女	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	従業員	自営業	無職用者	学生	主婦	失業者	その他	その他	家庭問題	健康問題	生活問題	経済問題	勤労問題	男女問題	学校問題	その他	不明	
平成23年	10	7	3	0	1	1	0	4	2	0	2	2	1	0	0	3	2	2	2	4	5	0	0	0	0	3	1		
24年	13	8	5	0	2	1	0	3	3	2	2	1	2	0	0	2	5	3	2	7	2	1	0	0	4	1			
25年	23	15	8	0	2	3	1	6	2	3	6	1	8	0	2	1	6	5	2	11	6	4	0	0	1	7			
26年	15	10	5	1	1	1	0	4	6	1	1	1	1	1	0	0	4	7	4	7	2	0	0	0	1	5			
27年7月末	11	8	3	0	1	0	2	0	3	4	1	1	1	1	0	0	4	4	1	4	1	0	1	0	0	5			

※平成23年は統計を始めた6月から12月までの確定値。27年は1月から7月までの暫定値。原因・動機別は最大3項目まで計上しているため、自殺者数と一致しない。

合計 72 48 24 1 7 6 3 17 16 10 12 6 13 2 3 6 21 21 11 33 16 5 1 0 9 19

妻に傷害致死容疑で逮捕 原発事故避難で近隣トラブルも - 朝日新聞

福島県警相馬署は、妻にけがをさせたとして相馬市新沼の無職斎藤敏明容疑者(72)を傷害の疑いで9日深夜、緊急逮捕し、10日発表した。妻は搬送先の病院で死亡が確認されたため、県警は11日に遺体を司法解剖して死因を特定し、容疑を**傷害致死**に切り替えることを検討している。

同署によると、斎藤容疑者は2日から8日にかけて複数回、妻の悦子さん(66)の顔を殴って踏みつけたり、腹部を蹴ったりしてけがを負わせた疑いがある。

斎藤容疑者は9日午後7時半すぎ、「自宅で妻が意識をなくしている」などと119番通報。駆け付けた救急隊員が、心肺停止状態で倒れていた悦子さんの顔や腹に外傷や**皮下出血**を見つけ、警察に連絡した。

斎藤容疑者は当時酒に酔っており、妻に暴行を加えたことを認めているという。

■「あのとき止めていれば」

夫婦間の暴力(DV)があった直後とみられる斎藤夫妻の様子を8日夕、近所の人が目撃していた。周囲への取材から、斎藤容疑者が東京電力**福島第一原発事故**の避難によるストレスで心身に不調をきたし、近隣でのトラブルをへて暴行に及んだ可能性が浮かんた。

近所の30代の夫婦によると、悦子さんは8日午後6時すぎ、自宅前の路上に倒れていた。「どうしたんですか。こんな所で寝ていたら車にひかれるから」と声をかけると「大丈夫。私なんか……」とふらふらと立ち上がった。直後に斎藤容疑者が現れ、「構うな」と悦子さんを自宅に連れ帰ったという。

悦子さんを助けようとした夫婦は「あのとき強く助けを求めてくれたら、こんなことにならなかったかも」と残念そうに話す。

親族らの話では、斎藤夫妻は**南相馬市**小高区大富で和牛を飼う畜産農家だった。自宅が原発事故の旧警戒区域に入って避難を強いられ、2013年1月から現在の相馬市内の避難者用借り上げアパートに住む。

斎藤容疑者はその頃から心身の状態が悪化、ふさぎ込んで家にこもりがちな日々が続いた。が、今春からは酒を飲んで出歩く姿も見られるようになった。

5月初めには、同郷の避難者が稲作を再開する相馬市内の水田に行って「俺が教えるやり方でやれ」などと酒の臭いをさせながら言い、知人に連れ戻されたことも。市内の**居酒屋**では他の客から「避難者は賠償金がいっぱいもらえていい」などと言われて殴り合いとなり、ビール瓶で額と手の甲にけがを負ったという。

その話を本人から聞いた同郷の40代女性は「ふだんはおとなしい人。狭いアパートで農業もできなくなった。その鬱屈(うっくつ)が、交通事故で足が不自由になった悦子さんに向かったのでは」と推測する。

震災後の新たな出会い

元東京大学医科学研究所 上昌広先生

南相馬市立総合病院他非常勤医師 坪倉正治先生





参考:チェルノブイリ事故5-10年後の
ベラルーシ、ウクライナ、ロシアでの結果

国名	Cs137 経量 (Bq/kg)別被験者数 (%)				
	0-50	50-100	100-200	200-500	500-
全地域	119306	93727(77.8)	15651(13.0)	68820(5.7)	27003(2.3)
ベラルーシ					
ゴメリ	18883	14211(75.3)	11361(6.0)	12916(6.9)	3021(1.6)
モギリョフ	23779	23441(98.6)	1821(7.7)	6326(2.7)	963(4.1)
ウクライナ					
キエフ	27721	26283(94.8)	10634(3.8)	2761(0.9)	800(2.9)
ジトメル	29078	21821(74.9)	4621(15.9)	19406(6.7)	6362(2.1)
ロシア					
アムール	19884	9980(50.2)	4986(25.1)	3032(15.3)	1580(7.8)

～坪倉先生の正しい放射能のお話会～
地元南相馬だけでなく
名古屋や東京で100回以上 4000人以上が耳を傾けた



一番叩かれていた時期・・・2012/2月頃

坪倉正治先生と二人だけの打ち上げ
ストレスで顔面麻痺の頃

お蔭様であ・うんの呼吸ができましたが...

「医師と市民の集い」がスタート 2012/3/13

医師も人間・・・文句ばかり言われていては疲弊します・・・

我々の命を預かる医師を励ますために始めました



被災3県でも福島県は自殺者(他県の3倍)
が多いことを危惧
但し男性向けには難しいと考え
女性のための講座を始める
「お母さんを元気にしよう！」

2012年6月よりニットサークルを皮切りにカルチャー倶楽部
を立ち上げ

2012年7月より「女性が元気で輝くために」女性講座を始め
る

女性講座第1弾

加藤茂明先生 & 小原まみ子先生

元東大教授 分子生物学の権威
解りやすいお話しで市民も熱心に勉強

亀田総合病院腎臓高血圧部長
自ら血圧計の正しい測定を指導



カッコイイ大人の話聞きよう！

被災地南相馬市は陸の孤島になりましたが 沢山の大人たちが支援に来てくれるようにもなりました

世の中にはいろいろな職業があることやいろいろな考えがあることを子どもたちに知って欲しくて カッコイイ大人の話聞きよう！ がスタートしました



「ベテランママの会」のイベント

坪倉先生の正しい放射能のお話し会が100回以上
4000名以上の方が参加

ニットサークルを皮切りに、フラワーアレンジメント、
エステ、足裏マッサージ 女性講座及び講演会や
癒しのコンサート、心の健康講話など

「カッコいい大人の話を聞こう」「駅マエ保健室」
「福島学カフェ」「復興本社って何してるんですか？」
のべ**17942名以上**が参加（2017年3月現在）

冊子を作ろう！まずは寄付集め

寄付依頼書

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私たちベテランママの会が東京大学医科学研究所から南相馬市立総合病院に非常勤医師として派遣されている坪倉正治先生と「正しい放射能のお話し会」を協働で開催するようになり、2年半余りが経ちました。まだまだ放射能や放射線の知識は市井に浸透していないと感じるこの頃です。私たちの2年半の活動のまとめとして、「福島県南相馬発 坪倉正治先生のよくわかる放射線教室」を小冊子にすることを今年のメインの活動とさせていただきます。

主宰発行はベテランママの会、監修は早野龍五先生（東京大学大学院理学系研究科特例教授）。製作は医療雑誌ロハスメディカルを手がけています株式会社ロハスメディアをお願いしました。

どなたが手にしてもわかりやすい手引書のような物にしたいと考え単純明快にしています。また、この度、福島県南相馬市立総合病院の推薦もいただきました。増刷分より名前が掲載されます。（2014/8月初版 20000冊は3週間ではほぼ無くなりました。）また英語版の必要性もお声いただき、あわせて英語版も作成中です。

つきましては、活動の趣旨をご理解の上、ぜひとも皆様からのご賛同を賜りたくお願いを申し上げます。次第です。何卒よろしくお願い申し上げます。

●内 容： 一口1,000円以上

●送金先： あぶくま信用金庫 東（ひがし）支店 普通口座 0223520
ベテランママの会 代表 番場さち子

※ご協力賜りました方には小冊子を贈呈させていただきますのでご連絡先をお願いいたします

・坪倉 正治先生・・・灘中・灘高卒 2006年東京大学医学部卒 東京大学医科学研究所医師（血液内科医）2011/4月より週の半分を福島で医療活動する
原発事故による内部被曝を心配する被災者の相談にも応じ、WBCを使用して内部被曝量をこれまで2万件以上計測し、データに基づく正しい放射能のお話しを展開 「南相馬の救世主」と厚い信頼を寄せられている

・ベテランママの会・・・2011/3/11の東日本大震災以降、若いママや子どもたち、高齢者のサポートをしようと急遽立ち上げた市民団体 坪倉正治先生との「放射能のお話し会」を皮切りにうつ病などの精神疾患が増えるのを予測し、番場カルチャー倶楽部も併設（ネットサークル、アロマ、エステ、女性が元気になるための女性講座、「医師と市民の集い」など）2014年9月現在で7000名以上動員/現在も継続中
代表： 番場さち子
事務所：福島県南相馬市原町区旭町2-35 駅前ビル42階南
TEL/FAX 0244-23-3918 e-mail: beteranmama0808@gmail.com

発表した翌日から・・・

『被災者なんだから
被災者らしい事をしろ！』
と電話攻撃・・・

被災者らしいことって
なんですか??

「福島県南相馬発 坪倉正治先生のよくわかる放射線教室」

日本語版初版20000冊 再版20000冊 3版10000冊

英語版10000冊 責任者として「覚悟」の顔写真
真



説論

放射線冊子

南相馬市の市民団体「ベテランママの会」が、放射線に関する基礎的な知識と、同市で行われてきた各種検査の分析結果を分かりやすくまとめた冊子を作った。

冊子には、「正しい知識を教える」という上から目標ではなく、東電福島第一原発事故後、同会が続けてきた相手向きな相談対応の姿勢を基本に据える。市民感覚の取り組で幅広い世代の放射線理解が深まれば、過度な不安や外部からの偏見の解消につながるはずだ。

冊子の名称は「福島県南相馬市 坪倉正治先生のよくわかる放射線教室」。東大医科学研究所医師の坪倉氏は震災後から相馬市に入り、

市民自らの学習が重要

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

坪倉氏によれば、高校生向

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

に、進学などさまざまな判断を迫られた母と子どもが、放射線に関する説明を受けて、坪倉氏の協力を得て放射線に関する説明を受けた。冊子は、このように実地経験から得られた市民の反応や疑問のポイントに基づいて編集された。

文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし

た。文科科学省や復興庁などでも教本は作製されましたが、どなたが手にし



ベテランママの会の代表 番場さち子さん

放射線学ぶ冊子に反響

てもわかりやすい冊子を作ろうとらめたのが今年の初め。寄付を呼びかけている間、批判を受けることが度々ありました。「被災者なんだから、被災者らしいことをしなさい」という罵声も浴びた。極め、一本書のことが知りたかった。その日から本部では、電話やメール対応が多忙を極めた。一本書のことが知りたかった。その日から本部では、電話やメール対応が多忙を極めた。

冊子が欲しいと電話を下される方は、大概「自身の身の上話から始まり、原発事故で家族がバタバタになった方、不安でうつ病になった方、生徒に伝えたいという学校の先生、客足が減ったのでお客さまにお伝えしたいという旅行会社やホテルの方、病院に置いて患



この連載は、東京のNPO法人J-KSKと被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結ぶプロジェクト」の協力を得て掲載しています。

2014年（平成26年）11月18日（火）

「正しい情報を」

放射線の基礎とまとめた冊子発行

「正しい情報」を伝える。正しい情報は、被災者の生活に大きな影響を与える。正しい情報を伝えることは、被災者の生活を支える重要な役割を果たす。正しい情報を伝えることは、被災者の生活を支える重要な役割を果たす。

心に寄り添う

被災者の心に寄り添う。被災者の心に寄り添うことは、被災者の生活を支える重要な役割を果たす。被災者の心に寄り添うことは、被災者の生活を支える重要な役割を果たす。

執筆陣をホームページ <http://www.mindo.jp/> で紹介

執筆陣をホームページ <http://www.mindo.jp/> で紹介

東京新聞「東北復興日記」

関東近郊の高齢女性から大反響

- ・「こんなおばあさんになって何もしてあげられないことに歯がゆさを感じていた
もう目も見えないので毛糸を使って欲しい
やっと自分にも被災者の方にできることがみつかりました ありがとう」
- ・「母の形見を役立てて欲しい」
- ・「一人で暮らしていて誰とも話さない日がある…みんなで編み物楽しいでしょうね」
- ・「亡き妻の遺品です 活かしてください」

「今年も年の暮れが迫って参りました。こうして、縁ができて、支援いただき、ことができ、ニットサークル一同大変有り難く思っております。ささやかなお礼ですが、メンバーが編んだ作品を同封させていただきます。」このような文面の手紙を添え、毛糸の支援者へのクリスマスプレゼントをお送りしました。

167



ベテランママの会代表
番場さち子さん



感謝編み込んだ贈り物

当会のニットサークル「写真」は、福島県南相馬市で月に二回集まって、編み物をしてながら互いを励ましている。みんなまりとした活動ですが、皆さんの生きがいになっています。プレゼントしたのは、編み上げた短い襟巻きなどです。

「ばかられるので、とか、老齢で編み物ができなくなったので生かしてほしい、という内容でした。そして夏から秋にかけて二十数箱の段ボールが届いたのです。」

六月十九日の本欄で活動をご紹介させていただき、八月十日一面「心に触れる話」でも掲載していただいたから、「毛糸を送りたい」とお電話を数十本いただきました。多くのの方が、亡くなった母親や妻の遺品を整理していて毛糸が出てきたが処分するのものは

ある独り暮らしの高齢の女性からは「今まで四年余り、被災地の方々に何もしてあげられないうと、心を痛めていました。もう目や手も不自由になつて、自分では編み物ができなくなつてしまつたので、編み棒や毛糸を使ってほしい。やっと自分にも被災地の方に支援できることが見つかりました。ありがとうございます」とお言葉をいただきました。感謝

するのはこちらの方なのに、その言葉に何ともいえない思いが込み上げました。

原発事故から五年近くなつて、南相馬で汚染土が入ったフレコンバッグという袋に囲まれて生活している私たちのことを、いまだに忘れずにいてくださる。だけでも、本当ありがたいと感謝の気持ちでいっぱいです。

「どうぞお元気で、良いお年をお迎えください」と、独り暮らしの支援者へ温かい気持ちのバトンをお返します。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

大川小の悲劇の教訓

あったのかを全国五十力以上で伝え続けています。

この悲劇には今なお、多くの



2011年3月の東日本大震災後、泥の中から見つかった大川小児童のランドセルと、津波で多くの児童が犠牲になった大川小。2014年2月、宮城県石巻市で（「ソーシユ」）

て



目次

1: 自己紹介

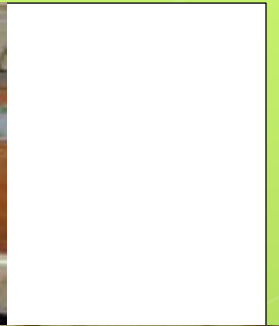
2: 南相馬市と震災

3: ベテランママの会

4: 考えてほしいこと

学校の現実







震災の日のままの場所があること



20キ口圏内



おびただしい数の汚染土



解決はいつ！？



県富岡町の汚染土などを集めた仮置き場のひとつ。
「フバッグ」と呼ばれる黒い袋（1個約1トン）につめられ、



汚染土の保管状況

国による
除染
（1月末現在、
一部の帰還困
難区域を含む）…… 261カ所

汚染土など
の保管量

560万
1765袋

市町村など
による除染
（15年12月
末現在）…… 12万
8288カ所

463万
2213袋

中間貯蔵施設への
搬入量（3月2日現在）…… 4万898袋 ●



福島県内のみで
1000万袋

国は福島から
出すと宣言！

仮置き場3年契約
2020年まで
中間貯蔵施設
最大7割最小4割
（未だ契約1.8%）

「フクシマ」の差別を受けるが
あれは東京電力の汚染物

我々は東北電力管轄なので
お預かりしているだけ

ぜひ若い方々のお知恵を
拝借したい

「福島復興本社って何してるんですか？」

Yahoo newsのトップ記事に！ 2015年11月



東京電力副社長 福島復興本社代表 との講演活動



東電側→

賠償は最後のお一人まで貫徹

実際→トラック4台分の荷物

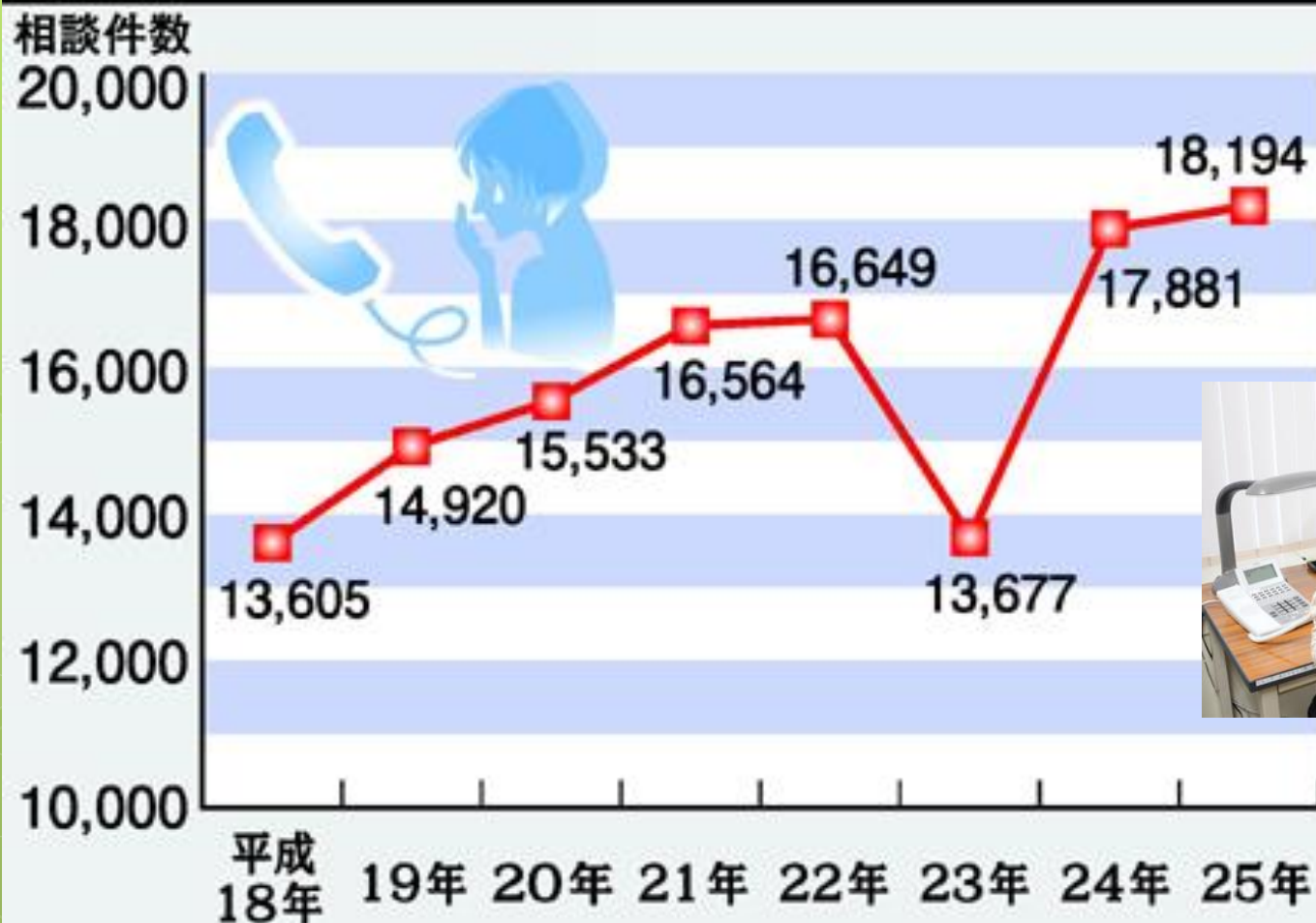
赤字の経営

拒絶（東電はうそつき）

1万8,194件過去最多

震災3年深刻化 喪失感・孤独・自責の念...

福島いのちの電話の相談件数



○2014年6月よりスタート

「すまいる工房」(ベテランママの会東京支部)

→都内に出た福島人をサポート/特に若者の引きこもり



番来舎をオープン 2014年11月

じっくり話せて泣ける場所が必要と考え……
物件探しに3年半かかりました



2014年7月よりスタート

「Angel girls」(女の子の相談室)

→いじめ、不登校、性暴力、DVなどの相談室
被災地ではDVや性暴力 児童虐待も増加



7/1 (tue) オープン!

ベテランママの会プロデュース
女の子の相談室 *Angel girls*
エンジェルガールズ

1人で悩まずに相談してみませんか?
ご相談は…

- ◆火曜日 13:00~0:00
担当: 代表 番場さち子 TEL 090-9034-8728
- ◆金曜日 13:00~20:00
担当: 副代表 松野美紀子 TEL 070-6951-2200

○毎月1の日 面談 13:00~20:00
○緊急の場合 都度対応いたします
Eメール kikou_hanasou@yahoo.co.jp

7/20 (tue)
「参考書宅救便」が
やってくる!

時間/14:00~ 場所/番場ゼミナール
参考書宅配便とは…
全国の大学生・受験生から使わなくなった
参考書を集め、被災地の学校や受験生に
届ける、首都圏の大学生による復興支援
プロジェクトです。

ベテランママの会 福島事務局
南相馬市原町区旭町2-35駅前
モンマビル2F南(番場ゼミナール内) TEL 0244-23-3918

みっけ相馬版

第1回日本復興の光大賞受賞

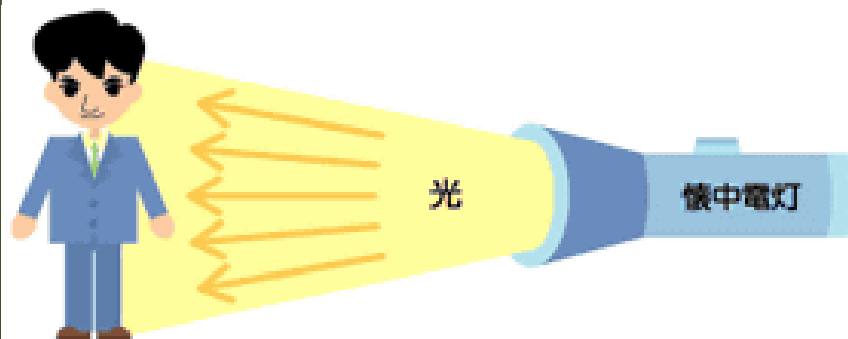


地域再生大賞優秀賞受賞

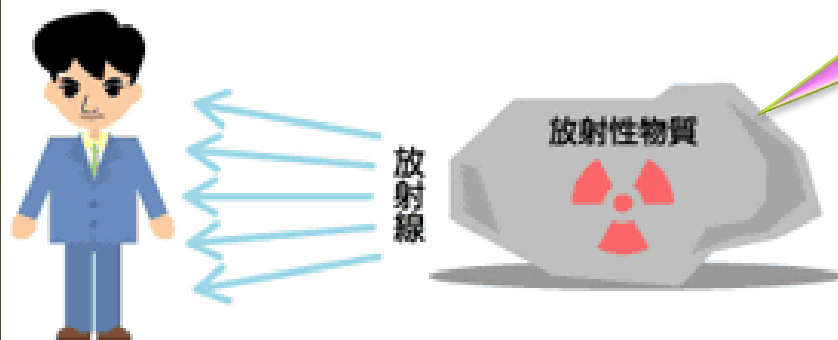


【32面にインタビュー】

【補足資料】 放射線とは？



明るさを表わす単位 [ルクス (lx)]



人が受けた放射線影響の度合を表わす単位 [シーベルト (Sv)]

- ウラン
- セシウム
- ヨウ素
- ストロンチウム
- プルトニウム,,,,,,

- 放射性物質（放射能）が出す、見えない光
- 放射線は移りません

どうやって浴びてしまうの？



食べ物、水、ほこりなど

まわりの環境から

内部被ばく検査



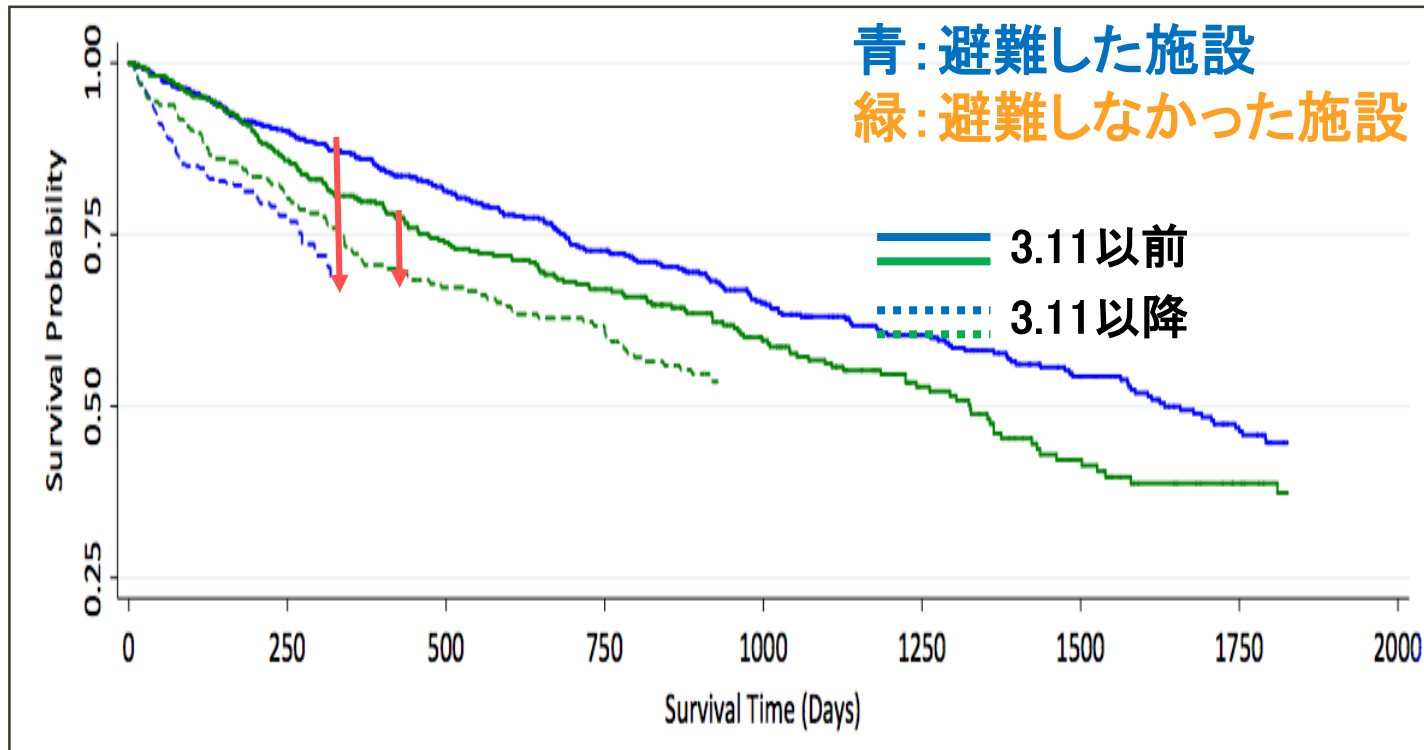
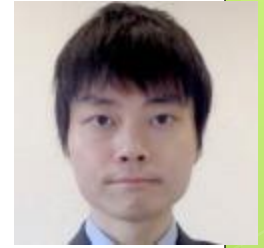
Whole
counter
体内放



セシウムは排出される

- 年齢が低ければ低いほど
 - 男性より女性の方が
 - 妊婦の方が
 - 排出が早い。
-
- 大人80日程度
 - 1歳 10日程度 6歳 30日程度
 - 10歳 50日程度 15歳で70日程度

災害前後の長期療養施設患者の生存曲線



- 災害後に死亡率は増加
- 避難した方が増加率が高

では、逃げなければ、誰が診る？

Nomura Set al. PLoS ONE 2013; 8(3): e60192.

Case 4. 被災地の医療崩壊

- 病院の特徴
 - 病院スタッフの8-9割は女性
 - その半数以上は家庭を持っている
 - 資格職は外で職業を見つけやすい。
 - たくさんの外注業者（清掃・物品・メンテナンス）
- 震災後の現状
 - 子供の被ばく・いじめが怖くて帰りたくない
 - 夫の職がなければ帰らない
 - 教育レベルが低下→育児上もよくない
- 本音
 - 舅・姑から離れて暮らせる
 - 逃げた、と後ろ指を指される

Case 5. 避難生活による健康被害

仮設住宅の健康リスク

- 運動不足
 - 失業
 - 狭い居住環境
 - 郊外に建設
 - 店が遠い、道が暗い
 - 車への依存、生鮮食品摂取の減少
- 精神状態の悪化
 - 劣悪な住環境
 - 生活習慣の悪化
 - 家族の喪失
 - 失業
 - 自信の喪失



Case 7. 除染作業員の健康問題

現在福島では約2万人の除染作業員
日雇い労働者やホームレスもリクルート
→平均的な生活・経済レベルが低い
=確率的に健康レベルも低い
(個々人の責任ではない)



REUTERS Dec 30, 2013
Special Report: Japan's homeless
recruited for murky Fukushima clean-
up

○ 住環境・労働環境も悪い



南相馬市で入院した除染作業員の背景



飲酒	83	(74%)
大量飲酒	28	(25%)
喫煙者	94	(83%)
1日15本以上	64	(57%)
保険未加入	11	(10%)
未治療の高血圧	57	(50%)
未治療の糖尿病	18	(16%)
未治療の高脂血症	37	(33%)

患者・未払いの問題が医療を圧迫している

幼稚園の子どもたちへの影響

2011年

- 4月、5月 「親から離れても泣かない(泣けない)」
- 6月 奇声、けんか、不機嫌

2013年

- ・ 外遊びに慣れておらず、遊具でけがが多発
- ・ 虫を集めて殺す→「自然は悪いもの・こわいもの」
- ・ 砂遊びができない
- ・ コミュニケーションができない(一方的な会話)
→メディア脳？

2015年

- ・ 意欲がない
- ・ かみつきの癖、ひっかき、怒り
- ・ 自己肯定感の低い子ども

健康被害のまとめ

- 原発事故によって起きた健康被害は、放射能被害よりもはるかに大きい。
- その多くは現在進行形である。
- しかし、放射能とがんの事ばかり話すことによって
 - 大量の健康被害が見落とされている
 - 風評被害が収まらない
 - 未来の災害に対する備えがないまま再稼働が始まっている

福島「健康復興」は、
世界中にとって重要な課題。

災害は、機会 (Opportunity) である

- 災害は「閾値」である：日常の延長上にある
⇒ 災害を機に隠されていた社会問題が露呈される

- 被災地の高齢者
- 被災地の妊婦
- 被災地の失業
- 災害時の教育
- 被災地の医師不足
- 災害時の情報共有不足

災害以前から問題

- 災害は特殊な事態ではない

しかし、社会をより良くするチャンスである。

(人・モノ・カネ・**知恵**が集まる)

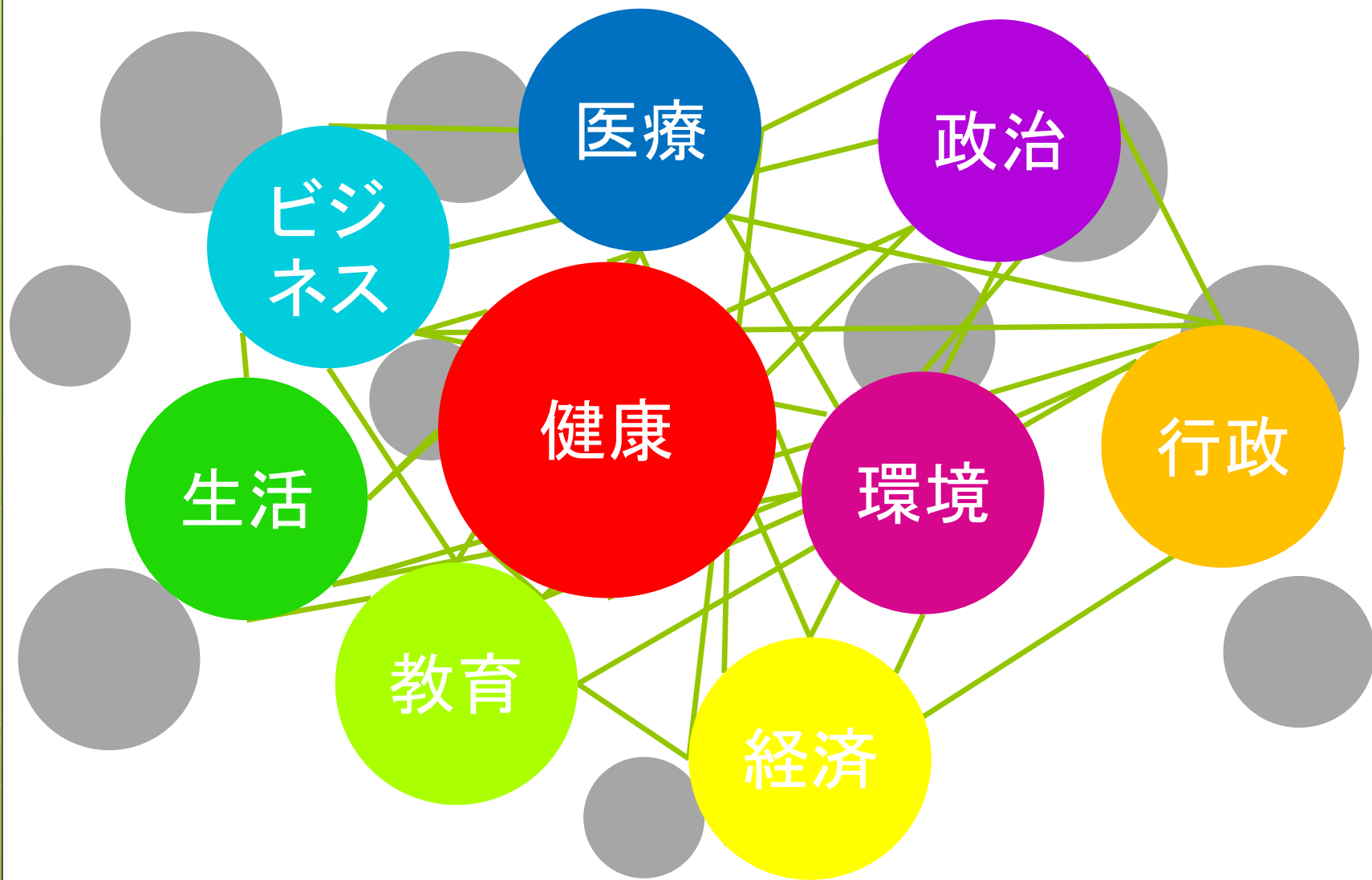
復興は、弱者の少ない街づくりのチャンス

防災・復興は「健康」を中心に

しかし...

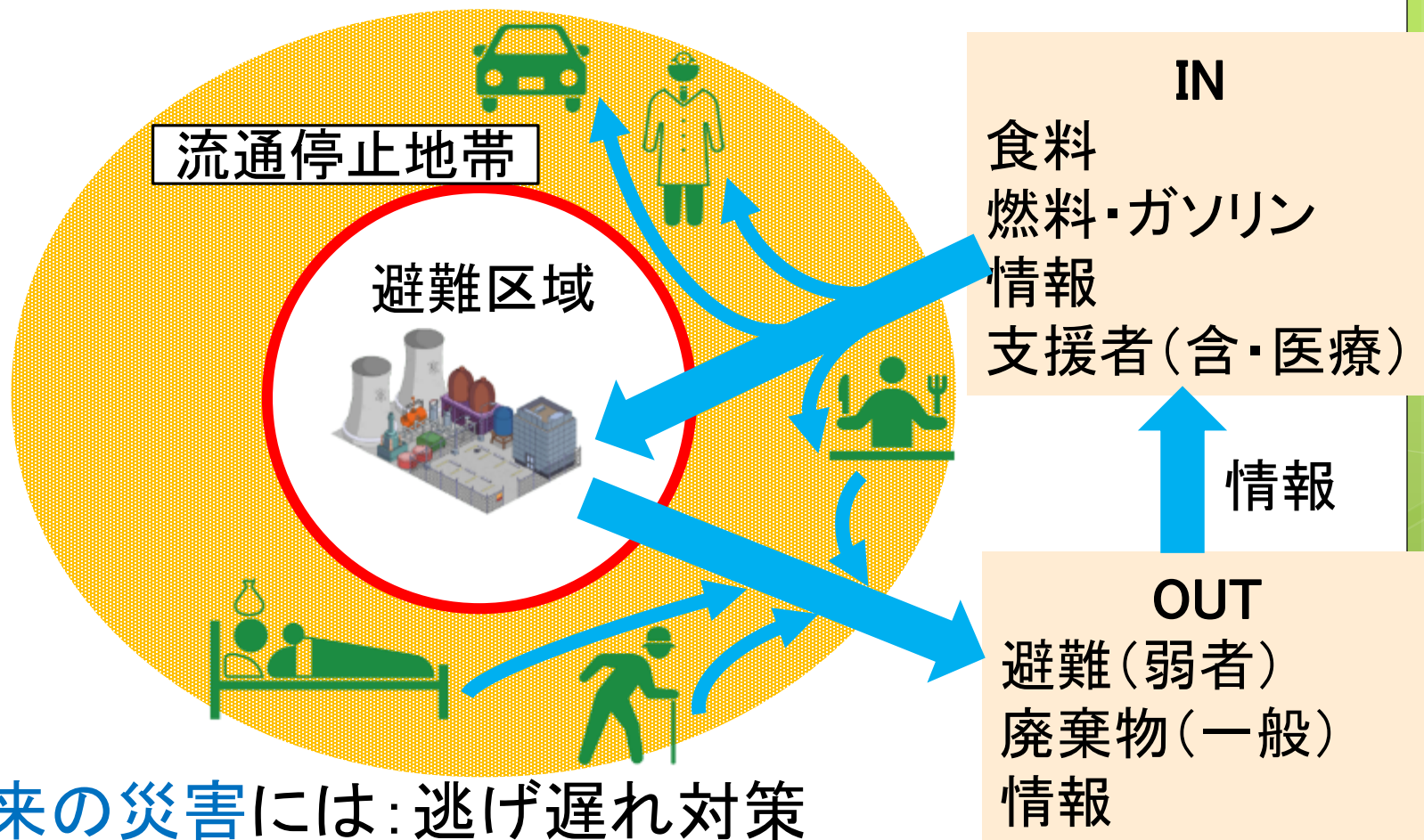


現実的には：連携・複雑さの理解



交通・情報・医療インフラの強化

一番の被害は、避難区域のすぐ外側の流通停止。



未来の災害には: 逃げ遅れ対策

平時には: 交通弱者(特に高齢者)対策

住民の健康情報の統一・共有

- 地域社会で
 - 誰が
 - どんな病気を持っている
 - どんな治療(介護)を受けているかは、把握されていない。

→大量の「健康弱者」が認知されていない

クラウド型地域連携システム「EIR」の特徴

The screenshot displays the EIR cloud system interface. It features a table with columns for '住民ID' (Resident ID), '氏名' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), '住所' (Address), '電話番号' (Phone Number), '医療機関' (Medical Institution), '介護施設' (Nursing Facility), and '備考' (Remarks). To the right of the table, there are four chat bubbles with user avatars and text:

- 医師:** 褥瘡が悪化しています。しばらく処置を連日行うべき。除圧マットレスも必要です。
- ケアマネ:** 了解。早速福祉用具業者に手配します。訪問入浴は延期した方がよいでしょうか？
- 看護師:** 褥瘡のためにも。なるべく入浴は継続した方がよいです。処置方法は写真をご覧下さい。
- 介護ヘルパー:** 写真拝見しました。これなら出来そうです。

医療・薬事・介護情報の統一・共有

未来の災害には: 薬難民の減少

平時には: 過疎地の遠隔医療にも有効

今福島の若者が(も)アツい！



福島「正の遺産」



発展的復興 (Build Back Better) は世界の課題。

SjCOOP tour: A good learning opportunity even for the hosts



Sae Ochi
Director of Internal Medicine,
Soma Central Hospital



For us to welcome SjCOOP members at the Minamisoma City General Hospital, a disaster-affected area. I hope all the participants enjoyed their visit and brought

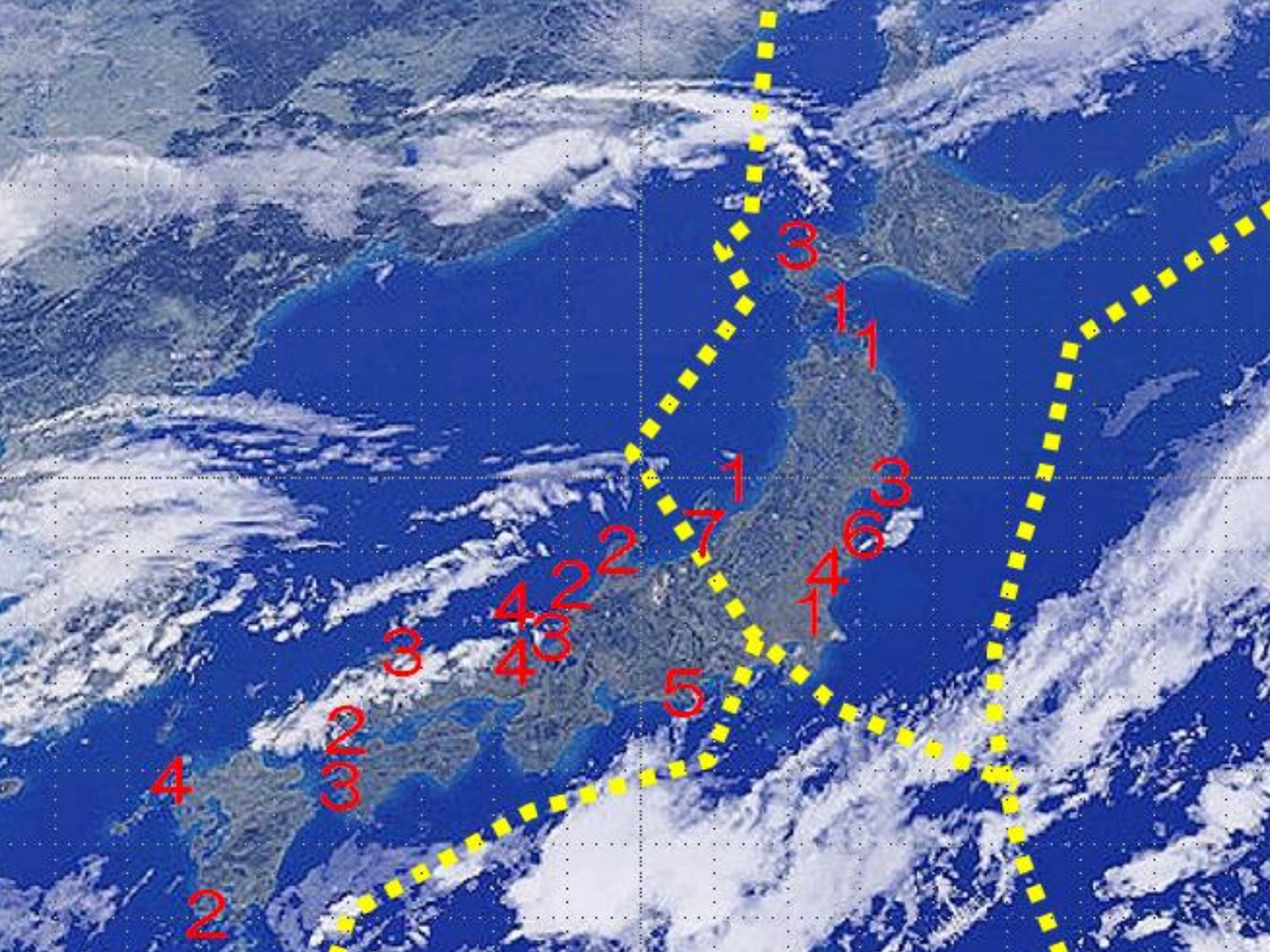


FOOD IN FUKUSHIMA IS SAFE,
BUT FEAR REMAINS



[Click to Open Overlay Gallery](#) A prospective buyer inspects the quality of fresh tuna before the first auction of the year at Tsukiji fish market in Tokyo, Jan. 5, 2015.

Eugene Hoshiko/AP



- ・日本全国災害だらけなど
南海トラフ
不安はある

自分の身は自分で守る

福島の問題

ふたつの風

- ・風化
- ・風評

エネルギーの問題

→まずは節電

- ・水力
- ・火力
- ・原子力
- ・再生可能エネルギー

これから行いたい事

1. エンディングノートの作成

2. 放射線基礎知識テストの作成

『相馬野馬追』

一千有余年続く伝統行事



ありがとうございました

- 一般社団法人ベテランママの会
- Angel girls
- 番來舎

